

☆ 生育は、平年よりも4~5日進んでいると思われます。(大石早生 収穫開始時点)

☆ 今後は、高温・降雨により「シンクイムシ類」や「黒斑病」の発生が増加する時期です。
引き続き、10日間隔以内の防除を徹底し、薬液が果実に十分かかるよう散布量にもご注意ください。

☆ 新梢伸長が旺盛な園地が散見されます。樹冠内部まで光が入るよう、また、薬液が届くよう、新梢管理を実施して下さい。(徒長枝の切除・捻枝・枝吊り・支柱立てなど)

1. プラム

【第11回定期防除】対象病害虫： シンクイムシ類、ケムシ類、(アブラムシ類)(カメムシ類)

散布時期	・7月11日~7月20日(第10回定期散布から10日後)		
散布薬剤	水 100ℓ当り		散布日 _____ 7月 _____ 日
	展着剤(まくぴか) 20mℓ		
	ヨーバルフロアブル 20mℓ(前日、2回)		散布量 _____ ℓ
散布量	10aあたり 500ℓ		
注意事項	①黒斑病(かいよう病)バリダシン液剤5の500倍(3日前、4回)又はスターナ水和剤1000倍(7日前、3回)を加用する。		

2. プルーン 第7回定期防除は、特報NO.7をご覧ください 散布目安は7/4~7/13

【第8回 定期防除】： 灰星病、シンクイムシ類、(ケムシ類)

散布時期	・7月14日~7月23日(第7回定期散布から10日後)		
散布薬剤	水 100ℓ当り		散布日 _____ 7月 _____ 日
	オンリーワンフロアブル 50mℓ(前日、3回)		
	劇イカズチWDG 66g(前日、2回)		散布量 _____ ℓ
散布量	10aあたり 500ℓ		
注意事項	①今回以降、果粉(ブルーム)溶脱防止及び果実汚染防止のため展着剤は使用しない。		

次面もご覧ください

●スモモヒメシンクイ フェロモントラップ調査結果について

越冬世代の発生は落ち着きましたが、6月下旬から第一世代は増えてきますので、引き続き注意が必要です。
薬剤散布10日以内の防除を徹底してください。

年	一本木		上今井		倭	
2023年	R5	R4	R5	R4	R5	R4
4月19日	設置	設置	設置	設置	設置	設置
4月26日	5	4	40	1	2	0
5月2日	14	4	14	0	27	10
5月10日	72	12	40	3	61	18
5月17日	24	7	23	6	40	22
5月24日	69	22	2	3	28	87
5月31日	23	14	0	3	9	21
6月7日	15	11	0	7	3	0
6月14日	12	3	0	1	5	1
6月21日	17	13	0	2	7	3
6月28日	33	50	1	6	37	36

*調査機関：北信農業農村支援センター 数字はスモモヒメシンクイ成虫の誘殺数

次回特報発行予定日：7月15日 問合せ先：園芸課・担当 横田（080-5147-8257）